

年 度	2022年度（令和4年）		
科 目	電気施工 【講義形式】		
担 当	土屋俊雄 占部昭三	使用教室	55教室
実務経験	土屋：（株）ジーエス・ユアサにて地下鉄工事の現場代理人・電気設備設計を経験。電気技術の教育に活かす。 占部：仏教大学内設備の電気主任技術者として電気設備管理の経験あり。 また、日本理工情報専門学校では講師としての経験を有している		
種 別	✓ 後期		
到達目標	電気工作物の設備を理解し、電気工事ができる。 電気機器の規格・性能及び設置基準について理解する。		
資 格 実施月	令和4年10月		
評価方法	定期検査（中間・期末）の成績70%、平常点（課題や報告書、出席状況等）30%の合計		
教科書等	電気工事。第二種電気工事士らくらく学べる。電気設備技術基準・解釈早わかり。		
授業計画	第1～2週 <ul style="list-style-type: none"> ・電線の接続 ・がいし引き工事 第3～4週 <ul style="list-style-type: none"> ・金属管工事 ・金属可とう管工事 第5～6週 <ul style="list-style-type: none"> ・金属せんぴ工事 ・合成樹脂管工事 第7～8週 <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブル工事 ・地中埋設工事 第9～10週 <ul style="list-style-type: none"> ・金属ダクト工事 ・フロアダクト工事 第11～12週 <ul style="list-style-type: none"> ・小勢力回路の工事 ・ショウウインドウの工事 第13～14週 <ul style="list-style-type: none"> ・ラインダクト工事 ・ネオン管工事 第15～16週 <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所と工事 ・危険物のある場所の工事 第17週 <ul style="list-style-type: none"> ・練習問題 ・総合復習 		